



# 製薬・医療関連企業による「沖縄力発見ツアー2014」

～沖縄への投資促進や新たな産業の創出・振興等を目指して～

内閣府は、2月12日(木)～2月13日

(金)、県外の製薬・医療関連企業の代表者等の方々に沖縄のポテンシャル(沖縄力)やビジネス環境等を見ていただく、本年度4回目の「沖縄力発見ツアー2014」を実施しました。

今回のツアーでは、沖縄科学技術大学院大学や那覇空港貨物ターミナルビル等の視察とともに、琉球大学医学部や県内の製薬・医療関連企業等との意見交換等を行いました。

## 【ワーキング・ディナー】

沖縄力発見ツアーの初日(12日)は、県外から参加された21社の代表者等の方々と、内閣府幹部、沖縄県幹部、県内経済界関係者等の方々との間でワーキング・ディナーを実施しました。

同ディナーにおいては、河合内閣府沖縄総合事務局長から「アジアのゲートウェイ」として発展する沖縄」について概況説明をした後、参加者間の意見交換が活発に行われました。



ワーキング・ディナーにおける意見交換

## 【視察】

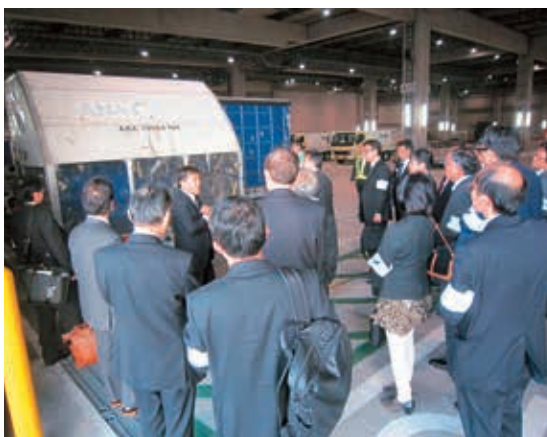
翌日(13日)は、沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター及び沖縄ライフサイエンス研究センターにおいて、それぞれの施設の視察のほか、概要説明及び入居企業による取組概要等のプレゼンテーションを行いました。また、沖縄科学技術大学院大学、那覇空港貨物ターミナルビル(ANA)をそれぞれ視察しました。

## 【琉球大学医学部及び県内企業との意見交換】

琉球大学において、同医学部から「再生医療・細胞治療」や「感染症の迅速診断とその治療法」、「ゲノムと環境因子」の研究を紹介していただくとともに、意見交換を行いました。

また、沖縄バイオ産業振興センターにおいても、県内の製薬・医療関連企業との意見交換を行いました。県外から沖縄に進出した製薬・医療関連企業からは、進出してきた理由として「沖縄には海洋性資源などポテンシャルの高さを感じる」、「東南アジアを含むアジアを考えた場合、沖縄はその中心としての魅力がある」、「ベンチャー企業にとって、沖縄ライフサイエンス研究センターのように、研究を行う場所、商品の製造ができるのは魅力」等の意見がありました。

内閣府では、今回の沖縄力発見ツアーで頂いた様々な方々のアドバイス、お声を今後の取組にいかしていきたいと考えています。



那覇空港貨物ターミナルビル(ANA)視察



琉球大学医学部との意見交換